

先生

日语基础写作

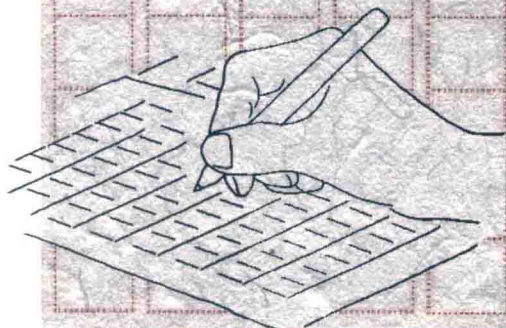
写作技巧大公开

编著◎李先瑞 审订◎(日)河野保博

夯实基础

循序渐近

讲练结合



华东理工大学出版社

编著◎李先瑞
审订◎(日)河野保博

日语基础写作

写作技巧大公开

夯实基础
循序渐进
讲练结合



华东理工大学出版社
上海



图书在版编目(CIP)数据

日语基础写作 / 李先瑞编著. —上海: 华东理工大学出版社, 2018.7

ISBN 978-7-5628-5093-9

I. ①日… II. ①李… III. ①日语-写作-教材 IV. ①H365

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2017)第 125416 号

策划编辑 / 王一俊

责任编辑 / 朴美玲

装帧设计 / 戚亮轩

出版发行 / 华东理工大学出版社有限公司

地址: 上海市梅陇路 130 号, 200237

电话: 021-64250306

网址: www.ecustpress.cn

邮箱: zongbianban@ecustpress.cn

印 刷 / 上海展强印刷有限公司

开 本 / 710mm×1000mm 1/16

印 张 / 15.5

字 数 / 251 千字

版 次 / 2018 年 7 月第 1 版

印 次 / 2018 年 7 月第 1 次

定 价 / 40.00 元

版权所有 侵权必究

前 言

日语写作技能是日语学习过程中着重培养的一项技能。作为外语五大基本功之一,日语写作水平的高低一定程度代表了日语语言综合运用能力的高低。2018年公布的新国标中将“日语基础写作”设为日语核心课程,国内各高校的日语专业也将依据新国标在人才培养方案制订过程中把日语写作课程作为必修课。

目前国内已有多个版本的日语写作教材,各有千秋,但学生反映有些教材偏难,针对这种情况,本教材在编写过程中主要从以下五个方面做了改善。

一、适当运用例题,通过对例题的分析引出想要讲解的内容,言之有物。

二、循序渐进,从基本的标点符号到词语的搭配和文体的特征、从助词的用法到词语的前后呼应、从基本的记叙文写作到议论文写作能做到从简到繁,从易到难。

三、不仅每课课文后有练习题和作业,在课文中间也设置了大量的练习题供学生训练,以提高学生的写作语感。

四、在进行写作练习的过程中给予了大量的提示,供学生依照提示完成句子、段落和文章,以提高学生写作思维的逻辑感。

五、本教材基础篇可主要用于基础写作教学,实践篇可用于高级写作教学。

本教材由三大部分构成,共分20课。最后的附录部分对写作过程中常用的句型进行了列举和分析。

本教材在编写过程中参阅了大量国内外学者所著的写作教程,借用了一些例句和文章。因篇幅所限,文中未能一一注明出处,在此谨向有关著者表示由衷的感谢。

因编者水平所限,书中难免有疏漏和错误之处,敬请各位读者批评指正。

编者

2018年6月

目次

確認編

第1課	作文の表記	2
第2課	日本語の文体	14
第3課	書き言葉	24
第4課	ひらがな・カタカナ・漢字	32

基礎編 I

第5課	助詞の使い方	42
第6課	言葉の形の使い分け	48
第7課	自動詞・他動詞・受身	53
第8課	呼応	58
第9課	文末表現	62

基礎編 II

第10課	文の構造	68
第11課	文の長さ	77
第12課	指示詞	81
第13課	接続詞	88
第14課	段落	101

実践編

第15課	要約文	111
第16課	説明文	122
第17課	意見文	127

第18課	事実の示し	134
第19課	意見の主張	145
第20課	論述文の構成	150
付録	文型・表現	157
文型・表現1	順接の接続表現	159
文型・表現2	疑問表現	160
文型・表現3	指示表現	161
文型・表現4	論点の提示	162
文型・表現5	必要条件の提示	164
文型・表現6	逆接の接続表現	166
文型・表現7	先行研究の問題点の指摘	167
文型・表現8	研究目的の提示	168
文型・表現9	定義	169
文型・表現10	分類	171
文型・表現11	図表の提示	173
文型・表現12	数値の大きさの表示	174
文型・表現13	概数の表示	176
文型・表現14	数値の大きさの評価	177
文型・表現15	変化の形容	179
文型・表現16	変化がないことの表示	180
文型・表現17	変化の進行の指摘	181
文型・表現18	対比	183
文型・表現19	二者の比較	185
文型・表現20	三者以上の比較	187
文型・表現21	判明事項の指摘	189
文型・表現22	原因の考察	191
文型・表現23	予測	193
文型・表現24	列挙(1)	194
文型・表現25	列挙(2)	196

文型・表現26	転換・展開の接続表現	197
文型・表現27	引用(1)	199
文型・表現28	引用(2)	201
文型・表現29	同意	202
文型・表現30	反論	203
文型・表現31	帰結	204
文型・表現32	換言の接続表現	205
文型・表現33	補足の接続表現	206
参考答案		207
参考文献		240

確認編

第1課	作文の表記	2
第2課	日本語の文体	14
第3課	書き言葉	24
第4課	ひらがな・カタカナ・漢字	32

第1課 作文の表記

日本語の文章を書くためには、ひらがなやカタカナ、漢字、アルファベット、数字などと共にさまざまな記号が使われます。記号は文章をわかりやすくし、相手に読みやすいようにするものです。ですから、正しく使って、自分の伝えたいことが相手に伝わるようにしましょう。

第1節 句読点

句読点は文章を書く上で基本的であり、そして一番大切な記号です。文が終わるところに句点「。」を打ちます。文の途中には読点「、」を打ちます。句読点のない文章はとても読みにくく、文意が正しく伝わらないこともあります。

例文

ためになるわかりやすい参考書は多くないがこのテキストを使った感想を聞いてみたらいい本だという声が多かっただから友人に勧めた

どうでしょうか。読みにくいとは思いませんか。句読点を打ってみましょう。

修正文

ためになるわかりやすい参考書は多くないが、このテキストを使った。感想を聞いてみたら、いい本だという声が多かった。だから、友人に勧めた。

わかりやすくなりましたね。この文章は三つの文に分けることができます。このように句読点は文章をわかりやすくし、意味をはっきりさせる役割があります。

1 句点の打ち方

句点「。」は一つの文であることを示す記号である。言い換えれば、句点を打たなければ文は終わらないということです。文の最後に手紙でもメモでも必ず句点を打つようにしましょう。

練習1 次の文に句点を打ちなさい。

1. サケは川の上の方で卵を産む子供のサケは3~4センチぐらいになるとふるさとの川を下って海へ出ていく3~4年の間広い海で暮らしたサケは立派な大人になってふるさとの川に帰る卵を産むためだ広い海から自分が生まれた川にどうやって帰るのだろうか
2. この問題について専門家がいろいろ研究している集団で生活しているから迷わないのだろうか海の中にある流れに乗っているからだろうかサケは生まれた川のおいを忘れないのだろうかなどと考えられているだが本当のことはまだわかっていない

2 読点の打ち方

読点「、」は文の意味を明確にし、正しく相手に伝わるように打ちます。読点に句点のような明確なルールはありませんが、以下のような原則があります。そして、読みやすくするための目安があります。まずは原則を紹介しましょう。

原則1 長い修飾語が二つ以上あるとき、その境界に読点を打つ。

原則2 原則的な語順が逆順になるときに読点を打つ。

まず、原則1をみてみましょう。

戦前からの業界の流れを知る老人も、昔のことは何も知らない若者も、今年の北洋での漁獲量について聞くと嬉しそうな顔になった。

この一文の述部「嬉しそうな顔になった」には、次の三つの修飾語が係っています。

戦前からの業界の流れを知る老人も ↘
昔のことは何も知らない若者も → 嬉しそうな顔になった。
今年の北洋での漁獲量について聞くと ↗

ですから、この三つの修飾語の境界に読点を打つ必要があります。しかし、修飾語が短い場合は読点は必要はありません。例えば、

AがBをCに紹介した。

これは三つの修飾語が「紹介した」という述部に係っていますが、読点は不要です。もちろん「Aが、Bを、Cに紹介した」と書いても間違いではありませんが、読みにくい上で重要な読点との区別が付かなくなります。やはり、重要ではない読点は打つべきではありません。

しかし、この文の修飾語が長くなった場合は読点は必要になります。

とても美しく学校で人気のあるAが、まるで花のように可憐でけなげなBを、誰もが振り向くような可愛らしいCに紹介した。

とても美しく学校で人気のあるAが ↘
まるで花のように可憐でけなげなBを → 紹介した。
誰もが振り向くような可愛らしいCに ↗

つまり、 n 個の長い修飾語があるときは、 $(n-1)$ 個の読点が必要になります。同じように重文や複文の場合も、その境界に読点を打つ必要があります。

太郎は山に登り、花子は海で泳いだ。

愛するものは与えるがゆえに富み、愛を受けるものは受けるがゆえに富む。

伊助が昨日の夜にお花と会ったのは、彼女の家だった。

上記の重文や複文も原則1に沿って読点を打てば良いのです。

次に原則2をみてみましょう。

できた、宿題が。

やはり彼か、私のおやつを食べた人は。

どちらも日本語の原則的な語順とは異なっています。日本語は述部(動詞、イ形容詞、ナ形容詞)が最後にきます。原則的な語順では下記のようになります。

宿題ができた。

私のおやつを食べた人はやはり彼か。

この文は述語を先にすることで強調することができます。しかし、その際に

できた宿題が。

やはり彼か私のおやつを食べた人は。

としては、非文法的になります。ですから、逆接であることを示すために読点が必要になるのです。

それでは、次に文章を読みやすくするための目安を紹介します。

(1) 誤解を避けるために打つ

① 修飾語と被修飾語の関係をはっきりさせる。

[原文] きれいな赤い服を着た少女。

[修正文] きれいな、赤い服を着た少女。

[注] 読点を打つことによって、「きれいな」が「赤い服」に係るのではなく、「少女」に係ることがわかる。

② 修飾語と述部の関係をはっきりさせる。

[原文] 今朝早く完成が待たれていた船の進水式があった。

[修正文] 今朝早く、完成が待たれていた船の進水式があった。

[注] 読点を打つことで、「今朝早く」が「進水式があった」に係ることがわかる。

③ 対等な関係にある二つの語句を等しく修飾する。

[原文] 通勤者が多く住むA地区とB地区では長時間保育が課題となっている。

[修正文] 通勤者が多く住む、A地区とB地区では長時間保育が課題となっている。

[注] 読点を打つことで、A地区とB地区のいずれも通勤者が多いことがはっきりする。

④ 漢字やカタカナが続くときに語句の区切りをはっきりさせる。

[原文] 従来価値が高いと見られていたのは次の物件である。

[修正文] 従来、価値が高いと見られていたのは次の物件である。

[注] 「従来価値」という語句があると誤解されないように読点を打つ。

(2) 読みやすい文にするために打つ。

① 列挙する語句の間。

[例] このシステムは、メールサーバー、ファイヤーウォール、DNSサーバー、WWWサーバー、PTPサーバー、プロキシサーバーを搭載している。

② 主題の後(ただし、短い文には打たなくてもよい)。

[例] 公社債型を含めた投資信託の純資産残高は、今年6月に過去最高を記録した。

③ 文頭の接続詞や副詞の後(ただし、短い文には打たなくてもよい)。

[例] または、～ しかも、～ 主に、～ 結局、～

[注] 「また当社は、」のように、すぐ後に読点が続くようなときは接続詞や副詞の後の読点を省略する。

④ 挿入句のある場合の前後。

[例] トラブルの原因は、一般にして言えば、インターネットという新しい効率的な手段を受発注に用いたにもかかわらず流通プロセスが従来型だったことにある。

練習2 次の文に読点を()内の数だけ打ちなさい。

1. このレポートにははっきりしないところがあったので新しいデータをもう一度調べてみた。(1)
2. 今朝の新聞によると昨日の暑さは今年最高で埼玉県熊谷市で35度だったそうだ。(2)
3. 実験の結果がはっきり出ない場合ははじめからやり直さなければならない。(1)
4. この辞書は小さくて便利だが例文が少なすぎる。(1)
5. 彼女は仕事子供教育趣味など一生懸命にやる人だ。(2)
6. よく聞き観察し深く考えることが大切だ。(2)

7. 次に来年行われる全国ボランティア会議について説明する。(1)
8. 今年の夏は涼しい日が多かったため米の成長がよくない。(1)
9. 二つの入れ物を並べ一方には10%の食塩水他方には10%の砂糖を入れた。(2)
10. このパソコンにはOSが入っていないので自分でインストールする必要があるが私は自分ではできないので詳しい友人に尋ねた。(2)

練習3 次の文は読点を打つ場所によって意味が変わります。aとBで意味が変わるように読点を打ちなさい。

1. A 吉田さんと三崎さんが作った作品を見に行く。
B 吉田さんと三崎さんが作った作品を見に行く。
2. A 私はコーヒーを飲みながら絵を書いている友人を見ていた。
B 私はコーヒーを飲みながら絵を書いている友人を見ていた。
3. A 松田先生の授業に対する不満はますます大きくなった。
B 松田先生の授業に対する不満はますます大きくなった。
4. A きノウ友人に借りたカメラをなくしてしまった。
B きノウ友人に借りたカメラをなくしてしまった。
5. A 私は父と母へのプレゼントを買いに行った。
B 私は父と母へのプレゼントを買いに行った。
6. A 姉は泣きながら逃げる弟を追いかけた。
B 姉は泣きながら逃げる弟を追いかけた。

練習4 次の文章に句読点を打ちなさい。

1. 日本へ来たばかりの時老人が多いのに驚いた
2. 彼は勉強アルバイト趣味などすべてに一生懸命だ
3. いつも6時に起きシャワーを浴び朝ごはんを食べる

4. 国でも日本語を勉強したしかしその時は全く話せなかった
5. この街はきれいだが物価が高く人も多く住みやすい街ではない
6. 確かにこの辞書は使いやすいだが値段が高すぎるのが難点だ
7. 私たちが住んでいる地球には海と陸地があるが海の面積のほうが広い陸地は六つの大陸とその周辺の島が成り立っている
8. 地図で見ると日本はアジア大陸の端にある島国である北東から南西に北海道本州四国九州の四つの大きな島が並んでいる島の形は複雑である。
9. 1868年に明治時代が始まったそのときの日本はアメリカやヨーロッパの国々に遅れていたので政府は急いで近代化を行おうとした政府は使節や留学生を欧米の国々に送ったりまた技術者や学者を欧米から招いたりした
10. また睡眠についての質問をしたところ一日6~7時間寝るという人が一番多く80%の人が11時半~12時に寝ることがわかったしかし中には毎日2時過ぎに寝るという人も4%いた

第2節 記号

日本語の文章を書くときには、「。」や「、」のほかにもさまざまな記号を使います。下記の文章から「。」や「、」以外の記号を見つけてみましょう。

福沢諭吉は1835年に大阪に生まれた。当時は士・農・工・商(士は武士、農は農民、工は職人、商は商人)の四つの(身分)がはっきりしており、生まれた時から自分の身分が定められていた。同じ身分の中でも階級の上下があった。諭吉は「こんな制度は大嫌いだ」と言って、低い身分から抜け出すために一生懸命勉強した。

1860年(25歳のとき)にアメリカに行った。このアメリカ行きによって、諭吉の目は世界に向かって開かれた。その後ヨーロッパの国々(イギリス、オランダ、ドイツ、ロシアなど)を見てまわった。そして、アメリカやヨーロッパの政治・経済・文化を紹介した『西洋事情』という本を書いた。その後、慶応義塾大学を作ったり、『学問

『ノススメ』という本を書いたりして、若者の教育のために力を尽くした。『学問ノススメ』のはじめに書いてある「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず…」という言葉は有名だ。

日本語の文章でよく使われる記号

(1) ・ (中黒、中点)

- ★ カタカナ書きの外国語や人名の区切りを表す。

トピック・センテンス
レオナルド・ダ・ヴィンチ

- ★ 物事を並列するとき

小・中・高の教育体制
絶句は起・承・転・結からなる短詩である。

(2) () (かっこ)

- ★ 説明を詳しくするとき、別な言葉で言い換えるとき、読み方などを示すとき。

野口英世が生まれたのは猪苗代湖(福島県)の近くの小さな村だった。
メーデー(5月1日)は労働者の祭典とされている。
百合(ゆり)の花はよい香りがする。

(3) 「 」 (かぎかっこ)

- ★ 会話部分を示す。

父は私に「自分でよく考えろ」とよく言う。
「助けてください」と彼女は叫んだ。

- ★ 引用や引用された論文名を示す。

聖書には「汝の敵を愛せ」とある。
「日本語における誤用の問題」を参考論文にする。

- ★ 語句を強調する場合。

今は「地球の危機」なのだ。
受身の文では「誰がそれをしたのか」がぼやけてしまう。

(4) 『 』 (二重かぎかっこ)

- ★ 会話の中の引用や引用の中の引用を示す。

兄が「天気予報で『明日は雨でしょう』と言っていたよ」と教えてくれた。
「日本語における『敬語』の基礎的な問題」を読む。

★ 本の題名や雑誌名を示す。

柳田国男の『遠野物語』を研究対象にしよう。

出典は『歴史学研究』第55巻第10号の153ページ。

(5) 〈 〉(やまかっこ)

★ 語句を強調するときや言葉を特別な用法で使うとき。

その効果は〈劇的〉だそうだ。

あなたの言う教育の充実というのは〈なんの〉教育なのか。

(6) ——(ダッシュ)

★ 説明を補足したり、語句を挿入するとき

唐代の長安——現在の陝西省西安市では、国際都市として…

主題——その文書で主として何を叙述するのが大切だ。

(7) ～(波ダッシュ)

★ 距離や数値の範囲を示す。

奈良時代は平城京が都だった710年～784年の間である。

東京～大阪は約550キロメートルの距離だ。

(8) …(リーダー)

★ 省略を示す、または会話での無音の状態を示す。

この本には「そのとき、彼女は…と考えた」とある。

彼は驚いて「なるほど。…そうなのか」とつぶやいた。

練習5 次の文に記号を書き入れなさい。

1. 日本の教育制度は633制である。

2. フリーターとはフリー英語とアルバイトードイツ語を合わせた和製外来語である。

3. 食べることを通して体と心を健全に育てようとすることを食育という言葉で表現する。

4. 夏目漱石のぼっちゃんはいろいろな外国語に翻訳されている。